



医療事故紛争の予防・対応の実務

編集／伊藤文夫、押田茂實

A5判 494頁

2005年12月発刊

概要

- 医療事故を予防するためのリスク管理から、事故が発生した場合の責任や対処法、賠償・補償システムまでを詳しく解説してあります。
- 実務に役立つ医療事故関係の判例を掲載するとともに、医療機関における事故予防の最新の取組みを解説したほか、各国の医療安全・補償制度についても紹介した幅広い内容です。

目次

1 はじめに

■第1章 医療事故の法理論と実務

<医療事故によって医療スタッフ、医療機関はいかなる責任を負うか>

- 1 医療事故の概念とそれによる医療機関・医師の責任
- 2 医療従事者の刑事責任
- 3 医療事故と行政責任
- 4 医療事故と民事責任
 - (1) 医療水準—注意義務の基準—
 - (2) インフォームド・コンセントと説明義務
 - (3) 医療事故訴訟における因果関係
 - (4) 医療事故訴訟における損害論
 - 延命利益・期待権・機会喪失等—

■第2章 医療事故と紛争の予防・対策

<医療事故と紛争の予防のために何がなされるべきか>

- 1 医療機関のリスク管理と安全管理 (総論)
- 2 病院経営におけるリスク・マネジメント
- 3 報告体制のあり方と医療機関の責任
- 4 判例にみる医療器材等の誤使用・欠陥と医療機関の責任
- 5 医療紛争の防止策及び紛争処理手続
- 6 法医学的視点からみた紛争予防
- 7 医療事故と紛争の対策
 - 患者側弁護士立場から医療界への要望・期待を中心に—
- 8 医療事故訴訟における留意点
 - 医療記録の問題を中心として—
- 9 医療事故防止へ向けての行政の取組み
- 10 医療事故防止へ向けての医療機関の取組み

■第3章 医療事故と補償のシステム

<医療事故における補償はどのようになされるか、各国の医療安全制度>

- 1 医療事故と賠償・補償システム及び現状と課題
- 2 我が国における賠償・補償制度の現状と問題点
 - (1) 我が国における損害賠償・補償制度—交通事故と比較して—
 - (2) 賠償・補償における精神的要因の問題点
 - (3) 賠償・補償方法に関する問題点
 - (4) 補償と保険制度
 - (5) 医薬品副作用被害者救済制度
 - (6) 自賠償・労災等システムとの比較による医療事故補償システム
- 3 各国の医療安全・補償制度
 - (1) アメリカ合衆国における医療安全対策と医療事故への対応
 - ペンシルベニア州における新たな取組みを中心に—
 - (2) イギリスの医療安全・補償制度
 - (3) フランスの医療安全・補償制度
 - (4) オーストラリアにおける患者の安全と苦情処理
 - (5) ニュージーランドの医療安全・補償制度

※ 内容を一部変更することがありますので、ご了承ください。